

リウマチ性疾患治療中に生じた COVID-19 感染症に関する研究に関する患者さんの情報の研究利用についてのお知らせ

この度国立病院機構東京医療センター膠原病内科では、「リウマチ性疾患治療中に生じた COVID-19 感染症に関する研究」に参加することになりました。

この研究の目的は、リウマチ性疾患治療中に新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) を来した患者さんの治療結果を調べて、リウマチ性疾患が COVID-19 に与える影響を検討することです。本研究により、リウマチ性疾患をお持ちの患者さんが COVID-19 に罹患した際の診療方針、注意点などが明らかになり、実際の診療に活かされることが期待されます。

この研究のため、2020年1月1日より2022年5月31日までに治療した方の診療録の調査を行います。対象となるのはリウマチ性疾患で通院中に COVID-19 と診断され治療を行った方で、調査項目は個人情報を含まない医学的な情報（年齢、性別、症状、濃厚接触歴、治療薬、リウマチ性疾患の診断名、血液検査データなど）のみです。患者さんのお名前、住所などのプライバシーに関する情報が外部に漏れることは一切ありませんのでご安心下さい。

調査したデータは本研究の代表、研究本部であります九州大学病院別府病院内科に、電子症例報告書を用いて研究対象者の上記の診療情報を web にて登録集積する形で送付され厳重に管理されます。本研究における他の参加施設情報については【別紙】をご覧ください。また、今回の研究で得られた結果に関しては、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告されることがあります。

また、ご自身のデータを研究に利用することを承諾されない方は下記にご連絡下さい。その場合も、診療上何ら不利な扱いを受けることはありません。

この件に関しましてご質問等がございましたらご遠慮なくお尋ね下さい。

2020年12月

研究責任者

東京医療センター 膠原病内科

岡野 裕

連絡先 03-3411-0111(代表)

リウマチ性疾患治療中に生じた COVID-19 感染症に関する研究参 加施設情報

研究実施場所 九州大学病院別府病院内科
研究責任者 九州大学病院別府病院内科 教授 堀内 孝彦
研究分担者 九州大学大学院医学研究院医学教育学 教授 新納 宏昭
九州大学病院免疫・膠原病・感染症内科 講師 有信 洋二郎
九州大学病院別府病院内科 助教 木本 泰孝

共同研究施設及び試料・情報の提供、集計、解析

(施設名 / 研究責任者, 分担者の職名・氏名)

- ① 慶應義塾大学リウマチ内科 / 教授 竹内勤
- ② 北海道大学内科(Ⅱ) / 教授 渥美達也
北海道大学内科(Ⅱ) / 講師 奥健志

共同研究施設及び試料・情報の提供のみ行う施設

- ・ 日本リウマチ学会リウマチ専門医が勤務しリウマチ性疾患の診療を行う施設